

第 69 回 市民公開講座 事業報告書

長野県作業療法士会 事業部部長 村井貴

1. 講座概要

日時：令和 6 年 11 月 17 日（日） 10 時～12 時

会場：信州大学松本キャンパス 地域保健推進センター他

スタッフ：講師 3 名、実行委員 9 名で運営

テーマ「作業療法士と考える暮らしの今」にて 3 講座を開催。

【講座 1】：らくらく生活講座 ～楽に楽しく暮らしてフレイル・認知症を予防しよう～

講師：務台均（信州大学）

【講座 2】：発達が気になる子どもたちへの支援 ～「感覚統合」の視点から理解してみよう～

講師：岡本武巳（信濃医療福祉センター）

【講座 3】：子どもとの向き合い方 ～行動の見方をポジティブ変換～

講師：三ツ井直美（竹重病院）

2. 参加者（アンケート回答者数）

合計 ：75 名（66 名）

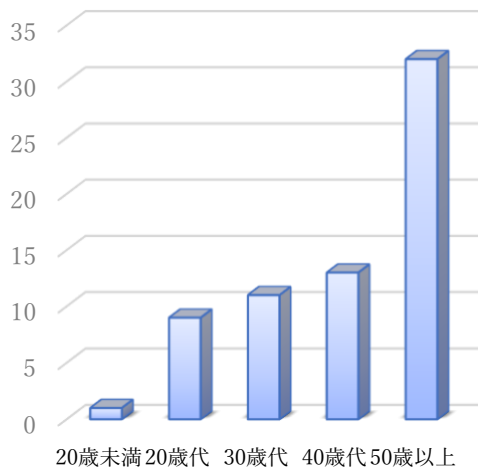
講座 1：25 名（23 名）

講座 2：35 名（32 名）

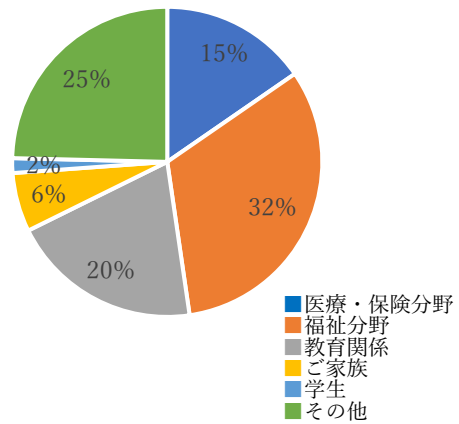
講座 3：15 名（11 名）

3. アンケート結果

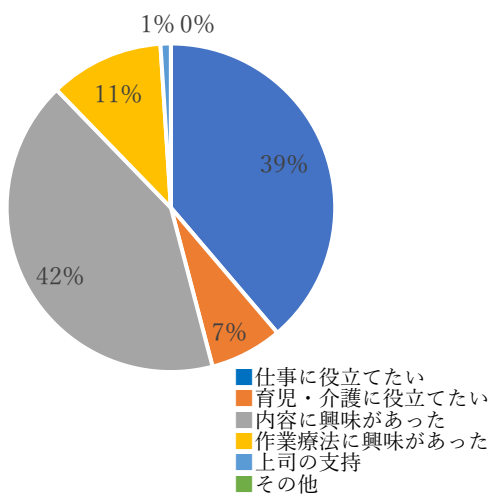
参加者の年齢



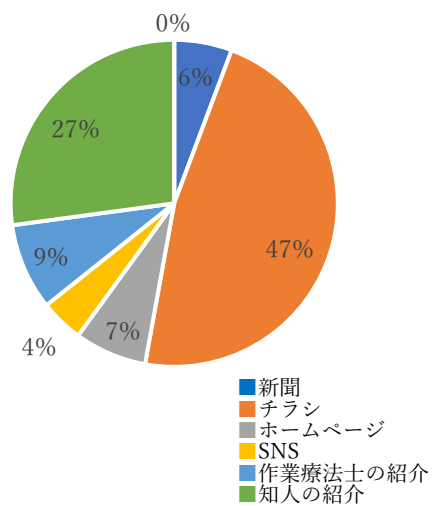
参加者の所属



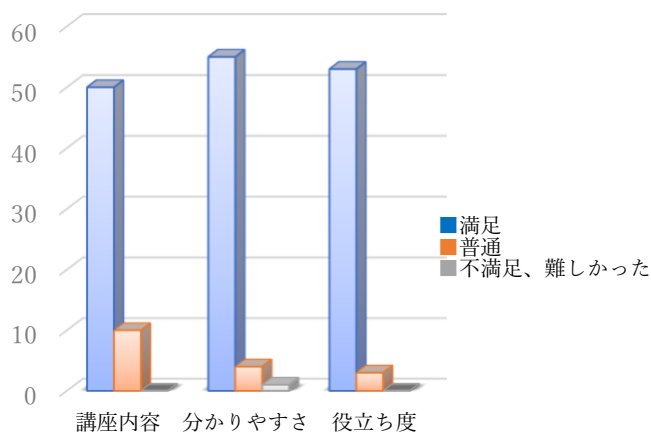
参加理由



情報源



満足度



4. 参加者からのコメント

【講座 1】

- ・ 民生委員として活動に役立てたい
- ・ とても分かりやすかったです。ありがとうございました。
- ・ 自分から他者へ情報発信していくための良い知識・視点が頂けて良かった。
- ・ フレイルにならないようにするために運動等が必要なことは知っていたが、前向きに明るく（人の役に立つ）喜びを感じられる働きがとても素晴らしいことだとわかりうれしく思いました。
- ・ チェックリストがとても分かりやすかったです。
- ・ 作業療法的「フレイル、認知症予防」のお話が良かったです。
- ・ 今回参加されたような元気でない人たちをどうするか考えていきたい。収入との関係性はどうかっているのかなども。

【講座 2】

- ・ いろいろ体験もでき、楽しく学ぶことができました。子供だけでなく大人にも通じることがあると思いました。
- ・ 実体験を挟んでの講座はとても分かりやすく良かった。
- ・ 本日学んだことを、子供をさらに理解するために取り入れていきたいと思います。
- ・ 支援のポイントについてわかりやすく教えていただきました
- ・ 感覚について専門的なお話をお聞きすることができてよかったです。
- ・ お話をお聞きしながらともに過ごしている子供が浮かんできました。少しでも子供たちのことをわかっていきたいと思います。
- ・ 今まで何となくの理解だった部分の理解が深まった。今日の学びを活かして、お子さんが楽しく学べる遊びや環境作りを頑張りたい。

【講座 3】

- ・ 子どもの行動力を考えるうえで、子供の特性ばかりに気を取られていましたが、親御さんの心が健康であることを大切に関わっていきたいと思います。
- ・ 支援をしていて声掛けのしすぎ、干渉しすぎになってしまう場面が意識していてもあったので、「待つ」「自己決定・選択」を重視・尊重しながら日々療育に携わって行きたいと思いました。
- ・ グループディスカッションの場があって良かったです。
- ・ 分かりやすく疑問にも答えて頂き、良い時間となりました。今後の療育に活かして行きたいと思います。ありがとうございました。
- ・ 具体的なケースと対応について細かく知ることができてよかった。
- ・ 最後のディスカッションとても良かったです。親の立場だけでなく、保育士さんの意見を聞く機会が貴重でした。